

全佛婦

No. 129

2019年夏号

7月10日発行



公益社団法人
全日本仏教婦人連盟

全佛婦129号

令和元年7月10日 発行日

広報委員 編集人

本多端子 発行人

発行所

公益社団法人 全日本仏教婦人連盟

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷

4-5-10-205

03-5772-0677 電話

<http://jbwf.jp/> URL

info@jbwf.jp MAIL

本多良之師 表紙画

来たる

親鸞聖人御誕生850年

立教開宗800年慶讃法要

を機縁として

The 850th Anniversary of
Shinran Shonin's Birth
and 800th Anniversary
of the Establishment
of the Jodo Shinshu Teaching



浄土真宗本願寺派
総長

石上智康

全 日本仏教婦人連盟の皆さまにおかれましては、仏教精神に基づく諸活動を通して、広く社会に貢献されておりますこと、深く敬意を表します。
さて、元号も令和に改まりました。来たる2023（令和5）年は、親鸞聖人のご誕生から850年、その翌年は、浄土真宗を開かれてから800年という、浄土真宗にとって記念すべき年にあたります。

仏教は、今から約2500年前に、釈尊がさとりをひらいて仏陀となられたことにはじまります。親鸞聖人がお生まれになったのは1173（承安3）年の平安時代末期であり、主著『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）を撰述され、教えを開かれたのは1224（元仁元）年の鎌倉時代であります。以来、連綿と、今を生きる私たちにまで、多くの先人方によってみ教えが伝えられてきたことは、まことに尊く有り難いことでもあります。

2023（令和5）年の3月

から5月にかけて、5期30日にわたり修行される親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要を機縁として、さらに多くの人びとに、そして次世代にみ教えを伝えていくことが、現代を生きるわれわれの責務であると伝えましょう。

次世代にみ教えを伝えていくために課題となるのは、時間と場所を超えた普遍的な真実である仏教の教えを、現代に伝えることの難しさです。

親鸞聖人を宗祖と仰ぐ真宗十派が所属する「真宗教団連合」では、20歳から79歳の男女合計4千人を対象に、昨年度2度目となる「浄土真宗に関する実態把握調査」を実施しました。

その結果、「み教えを、現代の人びとに親しみやすい表現によって示すもの」として企画刊行された教化用の文章が、特に女性に「難

しい言葉が多い」と認識されていることや、多くの方が「入りやすいお寺の雰囲気」を重視されていることがわかりました。これまで、伝統仏教界全体が、女性目線での取り組みを行ってきたとは言えないなか、いろいろな場面で女性の皆さまの参画をはかっていくことは、より多くの人びとに教えを伝えるため、非常に重要な視点であります。現場に伝わる言葉や儀礼の創出、信頼される僧侶の育成とともに、ご門徒一人ひとりに向き合い、各人に応じた情報発信や学習機会を設けていくことが必要とされています。

また、浄土真宗本願寺派では、昨年より、宗門全体で取り組む「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）・重点プロジェクトの実践目標を「（貧困の克服に向けて）Dāna for World Peace」〜子どもたちを育むために〜と掲げ、「子どもたちの笑顔のために募金」

の推進、子ども食堂の実施などを通し、国連のSDGsに掲げられる持続可能な社会のための活動にも取り組んでいます。

親鸞聖人は、ご和讃のなかで「如来大悲の恩徳は、身を粉にしても報ずべし」と仰せになりました。阿弥陀如来の大悲は、現に今、すべてのものを無上仏にならせよう、かたちを超えたこの上ないさとりそのものにならせようと、はたらきつづけていてくださいます。この世の縁がつきるその時まで、身を粉にして仏恩報謝の道を歩むその先にこそ、浄土真宗のめざす「自他共に心豊かに生きていくことのできる社会の実現に貢献する」道が、切り拓かれていくのであります。

最後に、大谷光淳ご門主が昨年の秋の法要にあたり、私たちにお示しくくださった念仏者の生き方の肝要「私たちのちかい」を紹介させていただき、結びに

かえさせていただきます。

私たちのちかい

- 一、自分の殻からに閉じこもることなく、穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
- 一、仏さまのように、おろかさや心に流されず、しなやかな心と振る舞いを心がけます
- 一、心安らかな仏さまのように、自分だけを大事にすることなく、人と喜びや悲しみを分かち合います
- 一、慈悲じひに満ちみちた仏さまのように、生かされていることに気づき、日々せいつばいに精一杯つとめます
- 一、人びとの救いに尽くす仏さまのように

赦しと同時に、 腹立ちを鎮める自制心が必要

不条理な振る舞いをされれば、誰だって腹が立ちます。けれど一度激しく腹を立ててしまうと、五つの心の中でも最も美しく、持つことが難しい「赦しの心」を持たねばなりません。日常のちょっとした行き違い程度に毎回激怒していたら大変です。



失敗した相手の詫びを快く赦すことも大切ですが、ささいなことには動じず、一度冷静になって、自ら腹立ちを鎮められるような自制心を養うこともまた、大切なことだと思います。
古くから僧侶の間で伝えられてきた腹を立てない呪文をお教えしましょう。

「オンニコニコ、ハラタテマイゾソワカ」

腹が立ったとき、心の中でこれを数度唱えるのです。ユーモラスな言葉の響きに、少し気持ちが治まり、ささいなことなら不問に付す気持ちになりますか？



オンニコニコ、
ハラタテマイゾ
ソワカ

これはお薬師様を賛嘆するときに唱える
「オンコロコロ、センダリマトオギソワカ」
をもじったものです。

言葉自体に意味があるというよりも『靈力の宿る言葉』として繰り返し唱えるものです。



腹を立てると自分が一番損をします。怒るとストレスがたまり、胃腸が苦しくなるし、顔つきだって悪くなります。ですから怒りはなるべく早く鎮めてしまいましょう。

「鳴かぬなら、鳴くまで待とうぼーっとおす」



という句で有名な徳川家康は、気の長いイメージがありますが、実は非常に短気な人だったそうです。しかし家康は、短気を抑えることの大切さとその方法を、過酷な幼少時代の経験から学んでいたようです。

徳川家康は、立腹したとき

「腹を立てることは人間の道に背くべきことだ候」

と自分に3度心の中で言い聞かせ、それでも怒りが収まらないうち、お手洗いに行き、大きな声で同じ言葉を発していたそうです。

席をはずして深呼吸すれば、気分が変わります。2時間もすれば冷静になります。腹を立ててもそれを持続させない努力をすれば、いつか習慣になります。

天下を取った家康のように、怒りを上手にコントロールして鎮める方法をぜひ養いたいものです。
怒りを早く鎮めれば、難しい赦しは必要なくなります。

自制心を養いましょう。

安田映胤著
『生きる幸せに気づく五つの心』
(主婦と生活社刊)より



怒りを早く鎮めれば、
難しい赦しは必要なくなります。

【安田映胤師】昭和13年岐阜市生まれ。昭和25年12歳で出家し、薬師寺に入山。橋本凝胤師の薫陶を受ける。昭和37年龍谷大学大学院修士課程修了。昭和38年宗教者平和使節団員としてローマ法王との謁見を始めヨーロッパ各地の宗教者と懇談。昭和39年名古屋大学学術調査隊員としてアフガニスタンを踏査。昭和42年薬師寺執事長就任。平成10年に薬師寺副住職、平成15年、薬師寺管主となり、現在は薬師寺長老。公益財団法人国際仏教興隆協会前理事長。

阿弥陀さま I

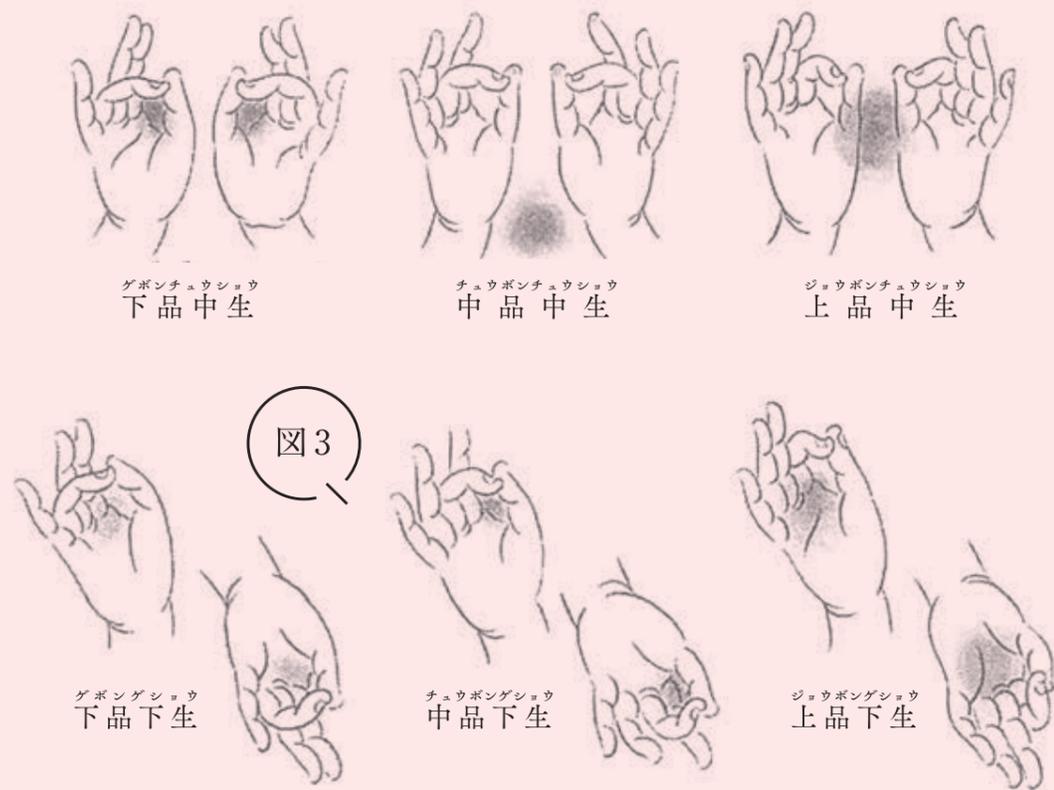


図3



上品上生



中品上生



下品上生

図1

ほとけ
さまの
サイン
Sign

能力の違い

突然ですが、阿弥陀さまが九つの違ったサインを出しておられるのをごぞんじでしょうか。

京都に浄瑠璃寺というお寺があります。このお寺の、横に長い本堂の壇の上には、有名な吉祥天と共に、横一列に九躰もの阿弥陀さまがお祀りされています。それで、このお寺を九躰寺ともいいます。

では、どうして一つのお寺の、しかも一つのお堂に九躰もの阿弥陀さまがいらつしやるのでしょうか。

どうやら、阿弥陀さまは、私たちを上品の者、中品の者、下品の者という三つに分けて見ておられるようです。そして、この三つの区別は、実は私たち一人ひとりの機根（性格や能力）の違いをいっておられるのです。

大変良い性格や優れた能力の者は上品の者、ごく普通の性格や能力の者は中品の者、少々困った性格や能力の者は下品の者というわけです。

救い方もいろいろ

また、阿弥陀さまは別に上生、中

九つのサイン

もうお分かりだと思いますが、こうした組み合わせには、それぞれ上中、下の三品の三生があるので、阿弥陀さまには、全部で3×3＝9種類のサインがあるということになります。

そして、その一つを仏像としてお造りしていけば、当然九躰（九品仏）ということになります。

では、なぜサインは九つなのでしょう。実は、これは「九品往生」といっ

て、だれでも阿弥陀さまの浄土へ往って生まれることができるということをお説いた「観無量寿経」というお経によっているのです。また、古来東洋では九を満数といって、最大の数と考えています。ですから、九という数字はすべてを意味しているというわけです。

上品上生から下品下生までの九つのサインによって、阿弥陀さまは、たとえどんな人であっても、その人それぞれにあわせて必ず漏れなく救ってあげるよ、とおっしゃってお

生、下生という二つのお姿をお示しになっておられます。

上生というのは、どうやって私たちを救ってあげようかとお考えになっているお姿です。

中生というのは、一歩すすめて、積極的に私たちに説法（教えを説き聞かせる）しておられるお姿です。そして、下生とは、いよいよ実際に私たちを極楽浄土に導くためにお迎えに来て下さるお姿です。

ところで、上品は両手の親指と人差し指を丸く捻じた形であらわされます。中品は親指と中指を、下品は親指と薬指をそれぞれ捻じた形です。

一方、上生はお考えになっているのですから、座禅をしているお姿です。したがって、上品と上生を組み合わせた図1のようなサインになるわけです。

つぎに、中生は胸の前に手を挙げて、私たちに語りかけて下さっているのですから、上品と中生を組み合わせた図2のようなサインになります。

そして、下生は私たちを浄土に導くときのお姿ですから、上品と組み合わせれば、図3のようになります。

られるのです。

ということは、私たちの眼で見て、どんなに優れた人でも、どんなに劣った人でも、阿弥陀さまは同じように救って下さるわけです。なぜって、阿弥陀さまから見れば、みんな仏の子なのですから……。

「ほとけさまのサイン」

編集・発行 天台宗出版社

浦井正明師：「阿弥陀様はなぜ九つの印相を示しておられるのか。お不動さまはどうして怖い顔をして、剣などをお持ちなのか。本書はこうした疑問にお答えするために書いたものである。（中略）仏さまは本来拜まれるために造られるのである。いいかえれば、私たちが仏さまに何を願い、仏さまはそれにどう応えてくださるのかということなのである。」

著者略歴

【浦井正明】

昭和12年東京生まれ。東叡山寛永寺長騰。天台宗僧侶。慶應義塾大学文学部史学科卒業。東叡山現龍院前住職。寛永寺執事長、台東区教育委員会委員長、台東区文化財保護審議会委員等を歴任。『もうひとつの徳川物語 将軍家霊廟の謎』等著書多数。

観念・覚悟

【かんねん・かくご】

一般に物を「見る」という場合、物の色、形、大きさを識別するということの意味ですが、仏教では「見る」という文字を使わず「観る」という。これは物の外見をみるのではなく、物の本質をみる、または外ではなく心の内側をみるということの意味する。

「観念」という熟語は、観想念仏という言葉の略語として生まれた。その意味するところは「仏や浄土を心に思念すること」といわれ、現在使われている観念、たとえば、経済観念とか時間の観念という場合の観念とは、大分意味が違う。これらは、西洋哲学が輸入されたときに、「アイデア」の訳語として観念が使われたからである。

ところが、動詞の「する」をつけて「観念する」という言葉になると、再び純日本的な意味になる。キラキラ光る七首（あいくち）をもって、亭主を縛りあげ「いい加減に観念したらどうだ」とすごんだ場合、覚悟を決めるとか、決心しろとか、諦めろという意味になる。観念という言葉が「死」と結びついたのは、おそらく臨終のときに、観想念仏を行ったことによるのであろう。

未頼みない契りなれば
是れ限り是れ限りと
逢うたび毎の観念

時代を表わす言葉というのがある。明治は「精神」大正は「覚悟」昭和は「がんばり」だそうである。「覚悟」とは何か。実は、この言葉も仏教語で「迷いから目ざめ真理を体得すること」という堅い意味がある。

現在は決意、決心、諦めの意味に使われるが、諦めるという意味では「観念する」と同意である。ともかく、何事も決死の「覚悟」で実行し、見事に死んでしまったりしないことが肝心であろう。

書間玄明著『生活のなかの仏教語』
(1995年3月、すずき出版刊)より



公益社団法人
全日本仏教婦人連盟

第七回総会・第二十回理事会

本連盟の第7回総会・第20回理事会が6月4日（火）、聖観音宗浅草寺「五重塔信徒休憩室」にて開催されました。

始めに本堂にて御導師田中昭徳貫首猊下のもと、珍しい論議問答がとり入れられた山家会法要が厳修され、終了後昼食。その後、午後1時より会員45人の出席、委任状120通の提出により総会の成立が宣言されました。

末廣理事長が挨拶に立ち、本日をもって御勇退される旨を述べられ、これまでの会員の方々への感謝と全仏婦の発展を参与という形で後押ししていく由を述べられました。
議長・議事録署名人の選出に続き
1 平成30年度 事業報告を桶屋理事、決算報告を事務局、監査報告を佐々木・湯浅両監事が

報告。

2 任期満了に伴う理事・監事改選では、新たに、遠賀氏を理事に選出、監事に篠田氏が選任されました。

3 2019年度 事業計画が大橋理事、収支予算が御嶽理事より報告され今年度の事業のさらなる発展を明確に示しました。

この後、田中昭徳猊下より、仏教音楽である声明についてわかりやすく御説明いただきました。猊下の音楽に対する見識の深さ又、猊下自ら作曲なされたメロデーに包まれてひとときの時間を過ごしました。

最後に第20回理事会では、新理事長に本多端子氏、副理事長に梨本三千代氏、常務理事に松井百合子氏、大橋百合子氏、花岡眞理子氏、日比野郁皓氏、丸山弘子氏の5名を選定し、本会

場での「心の募金」の報告と末廣理事長、篠田副理事長への感謝の拍手の中、無事終了いたしました。浅草寺様の御好意にて、絵馬堂拝観をさせていただき自由解散となりました。



前理事長挨拶

末廣久美



18年前に副会長として全日本仏教婦人連盟にご縁をいただき、その後理事長を4期8年も無事務めることができましたことは、会員、賛助会員の皆さまのご協力、そして各関連仏教団体の皆様のご指導のおかげ様と心より感謝を申し上げます。

困っている方々や社会のために少しでもお役に立ちたいと活動してまいりましたが、ブダガヤの光明施療院や菩提樹学園の子供たちの澄んだ目や、大災害にあわれたたくさんの方々の深い悲しみと乗り越えた強さと明るさに心が動かされました。そして共に福祉活動をしてきた各仏教団体の慈悲の心と力強い行動力にもとても励まされました。お役に立つというよりは逆に、尊くて大事なものの何なのかということに私自身が気づかされ、教え導かれたと思っております。本当にありがとうございました。皆さまのご多幸とご活躍を心からお祈り申し上げます。

本多新理事長のもと、全日本仏教婦人連盟はこれからも意義ある活動に邁進していくと思えます。どうぞ今後ともご協力をいただきますようお願い申し上げます。

新理事長挨拶

本多 端子



このたび理事長に選任されました本多端子でございます。

前末廣理事長には4期8年にわたり当連盟の発展に多大の尽力を賜りました。特に公益社団法人認可に際しましては粉骨のご活躍をされ、まことにありがたく頭の下がる思いでいっぱいでございます。

また、何時も知的で寛容な心で私たち会員を導いてくださいました。このような名理事長の後任には若輩な私にとって甚だ恐縮ではございますが、皆様からのご推挙をいただきましたので重責をお引き受けいたしました。

全日本仏教婦人連盟は、昭和29年創立以来、女性の立場から社会及び家庭生活の中に『仏教精神』をつちかい慈悲の心、人の気持ちのわかる人間を育成するとともに様々な社会福祉事業に取り組んでおります。

初代大谷智子会長様から諸々の先達の方々のご苦勞や、ご教示を引き継がなければならないと身の引き締まる思いでいっぱいでございます。

昨今の世情に目をやりますと親が子を虐待したりまたその逆だったり心の痛む事件が多発しております。このような時代だからこそ宗教や仏教婦人の役割が重要であると深く感じるところでございます。このうえは、東伏見具子会長のもと、役員並びに会員の皆様のご協力を賜り、『仏教精神』に則り社会の平和と当連盟の発展に力の限り精進いたしたく存じます。

そして、何時も私たちの活動に深くご理解をいただき、ご協力ご支援を賜っております賛助会員の皆様、各関連団体の先生方におかれましても、今後ともどうぞご指導ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。 合掌

新役員

令和元年6月4日より2年任期

第7回総会にて選任された理事・監事並びに第20回理事会にて理事長・副理事長・常務理事が選定されました。

役職	氏名	所属
会長	東伏見具子	天台宗
副会長	加用稔子	浄土宗
副会長	吉田真理	真言宗御室派
相談役	岡野鄰子	孝道教団
名誉顧問	六條照瑞	真言宗御室派
顧問	大賀美都子	浄土真宗東本願寺派
顧問	林恵智子	臨濟宗妙心寺派
参与	鈴木トヨ子	真言宗智山派
参与	末廣久美	天台宗
理事長	本多端子	浄土真宗東本願寺派
副理事長	梨本三千代	真言宗豊山派
常務理事	松井百合子	曹洞宗
常務理事	大橋百合子	真言宗智山派
常務理事	花岡眞理子	真言宗智山派

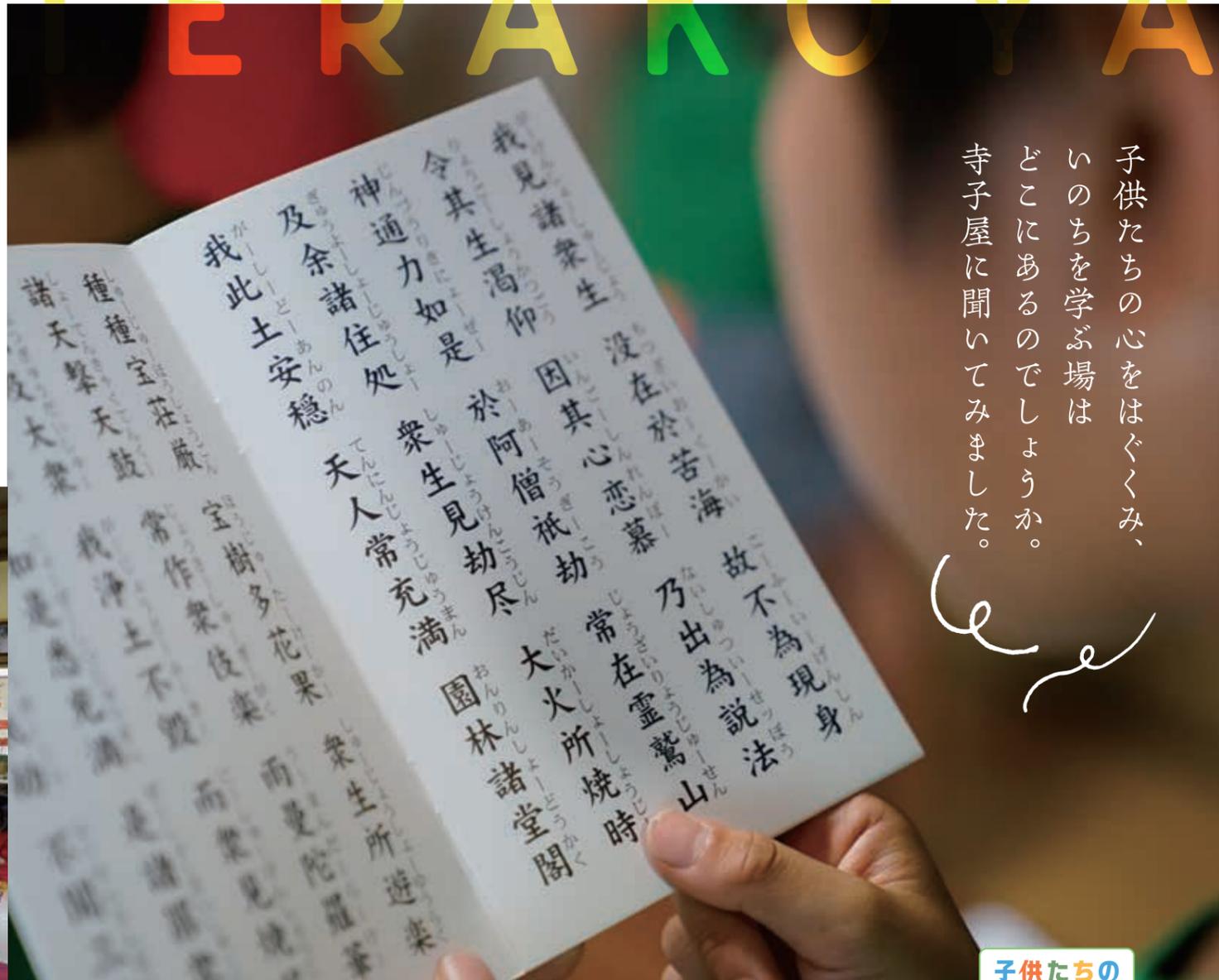
役職	氏名	所属
常務理事	日比野郁皓	浄土宗
常務理事	丸山弘子	学識経験者
理事	岩脇孝子	真言宗豊山派
理事	桶屋良法	念法眞教
理事	長尾節子	曹洞宗
理事	村主みづ子	真言宗中山寺派
理事	御嶽由美子	真言宗智山派
理事	小峰みな子	真言宗智山派
理事	遠賀令子	天台宗
西日本責任者	海老塚りり子	真言宗智山派
監事	木村匡成	公認会計士
監事	湯浅正江	天台宗
監事	篠田節子	曹洞宗



寺子屋

TERAKOYA

子供たちの心をはぐくみ、いのちを学ぶ場はどこにあるのでしょうか。寺子屋に聞いてみました。



神戸妙昌寺
住職 村井 惇 匡

「先生、この子トイレの水を流さないんです。注意して下さい！」小寺で開催している夏休み子ども道場での出来事である。使用後に洗浄しなかった子に理由を尋ねると「なんで流れないの？」と真顔で尋ね返してきた。実はこの子の自宅は全自動トイレであった。

また、二本撥での太鼓指導を八十五歳の女性信徒にお願いしたところ、休憩時間に小学校低学年の子供が、「おばあちゃんの顔は、どうしてそんなにシワシワなの？」と聞いていた。女兒の家はお年寄りがいないご家庭であった。

私たちは物事の判断や行動基準を自己の経験値によることが多い。子ども道場では、毎年、新鮮な驚きに出会える。

子どもたちを対象とする寺こやは、学校教育とは異なる価値観、すなわち「仏教」に根差した徳育と修行体験、食事や礼儀作法などの躰に対して保護者の期待が大きい。開催にあたって

は、ケガや事故などの危険に対する安全対策をはじめ、健康や衛生管理、傷害保険への加入などの配慮だけでなく、近年社会的に認知されてきた発達障害を持つ子供たちへの理解と対応も求められる。経済的基盤や対応人員を考えると一寺院だけで主催するには企画内容に限界があるが反面、一寺院だからこそこそで個性的な寺こやを実施することも可能とも言える。

ママ友のひと言

「神戸妙昌寺夏休み子ども道場」のきっかけは、寺庭婦人のママ友のひと言だった。

ママ友曰く「夏休みに入り、子どもが家でゴロゴロしてるから、お寺で修行させてほしい。食事、風呂、寝る所の面倒を見てもらえたら、他はビシビシお願いします」

「じゃあ」と軽い返事で始まった道場は寺の子と友だち数名だけのプチ修行付きプチ寺こや程度。数年続けると、ママ友がマ





6月20日第116回文化講座
京都仏教セミナーが開催されま
した。
お天気が良くバス2台に75名
の出席で京都駅を出発しました。
最初に右京区太秦の広隆寺に
て日本一美しい弥勒菩薩半跏思惟
像を奉拝いたしました。皆様美し
さに長く佇まれておりました。
お楽しみの昼食は洛北にある
しょうざんリゾートにて川のせ
せらぎの中で味わう渓涼床料理
に舌鼓をうち、なごやかにゆっ
くりとお食事いたしました。

国宝第1号である広隆寺の
弥勒菩薩半跏思惟像参拝、
通常非公開臨濟宗相国寺派相国寺伽藍の拝観と
管長有馬頼底下のご講話を
拝聴させていただきました。

第116回文化講座

京都仏教セミナー

マ友に紹介し、参加した子が兄弟姉妹、友だちを誘い少しずつ人数が増え、今では人数制限をしている。

修行とは、 修しながら行むこと

こども道場は、夏休み中の一泊二日。対象者は小学一〜六年生迄の四十名。参加費五千円(食事・保険・風呂・布団代などを含む)。スタッフは、僧侶三名、寺庭婦人一名、そして中高大学生になったOB OGが十名前後、世話係として加わる。

修行体験のコンセプトは、家ではさせないこと、しないこと、知らないことを寺空間で共同体験することである。

「いのち」の共同体

寺でのイベントで気になるのが集客人数。しかし、小寺の寺こやの目的は、子どもや保護者にとって、寺が①安心できる場所②心と体を調整する生活習慣を持ち③善き人とのつながり

が出来る「時間」と「空間」を「共有」することである。

「人を集める」に固執せず取り組み続けた結果「人が集まる」寺こやになったのかと思う。

毎年のこども道場では「いのち」を多角的に見つめ考えられるプログラムも組み入れている。生まれて来て良かった、生きてきて善かったと思える瞬間のために、細やかながら仏の種まきを続けている。芽吹き、花咲き、実を結ぶのは、三十年、五十年後でかまわない。



TERAKOYA



第116回文化講座 京都仏教セミナーに参加して

遠賀令子

京都と言えば紅葉、テレビでも秋になると盛んに美しい深紅の山々や庭を映し出している。しかし、初夏の柔らかい光を浴びた紅葉は清々しく清流によく似合う、そんなことを考えながら「しょうざんリゾート」の溪涼床で鮎の塩焼きがメインの川床料理を頂いた。

相国寺の承天閣美術館では、輪郭、光背、衣の袖等が法華経普門品の経文で描かれた墨面淡彩の観音像を驚きをもって拝観した。緻密な文字の羅列に私は小宇宙を感じ、今も目に焼き付いている。

新緑残るしょうざんでの昼食までは、爽やかで涼やかな天候も、午後には京都盆地特有の気候に一変、いやー暑かった！

暑かったけれど、
たくさんの学びが得られた
セミナーでした

桶屋良法

神仏のご加護のおかげで梅雨の晴れ間をいただき、京都古寺めぐりに参加させていただきました。

広隆寺では「一切衆生をいかにして救うおうかと考えているお姿を表わしている」という弥勒菩薩半跏思惟像を拝顔し、ほほえみを湛えたとてもおだやかな表情に魅了されました。

相国寺では有馬猊下のユーモアあふれるお話を拝聴した後、法堂、方丈、開山堂を参拝。法堂の天井にある蟠龍図が印象深く、「八方にらみの龍」は堂内のどこから見上げて目も目が合い、目を合わせながら歩くと龍の顔の向きが変わりずっと睨まれているのがとても不思議でした。

お蔭様で今回も沢山の学びをいただいた古寺めぐりとなりました。ありがとうございました。



午後からはメインの京都五山の相国寺にて日本仏教界の重鎮有馬頼底管長猊下より懇ろなるご講話を賜り、その後ご立派なご本堂や承天閣美術館を見学、伊藤若冲等の逸品に感嘆いたしました。

引き続き塔頭寺院慈照院にて桂宮家ゆかりの学問所と宗旦狐の掛け軸とお茶室を見学させていただきました。梅雨の時期が一番美しいと言われる苔と新緑の千年の古都と仏教の融合を味わい、正に洗除心垢のセミナーでした。



海洋プラスチック ごみ問題 海と人との共生の未来 1

窪川香薫

浄土宗長福寺副住職・
中央大学共同研究員

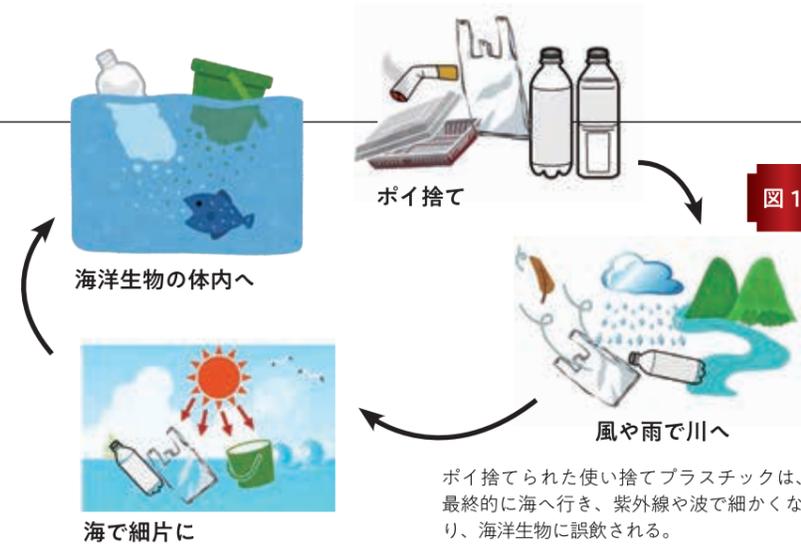


図1

ポイ捨てられた使い捨てプラスチックは、最終的に海へ行き、紫外線や波で細かくなり、海洋生物に誤飲される。

今年6月に開催されたG20大阪サミットで、海洋プラスチックごみを2050年までに流出ゼロにする目標が決まりました。大変危険なプラスチックごみ問題について考えてみたいと思います。

コーヒーショップ大手のスターバックスは、プラスチック製のストローを2020年までに全店で廃止するそうです。これは海洋プラスチックごみ問題の解決への協力であり、徐々にプラスチック以外の素材になります。レジ袋も同様です。日本では年間約20万トンのレジ袋が回収されています。日本のプラスチックの年間廃棄量が900万トンとすると、意外に少なく2%以下に過ぎません。しかし、棄て易く、軽いので風に飛ばされ易く、水に流され易く、海洋プラスチックごみになり易い製品です。ストローもレジ袋もその使用を控えることが、問題の理解を深め、解決への意識を高めることとなります。(図1)

海洋プラスチックごみは、そもそも海にあるはずのない物です。海で使う漁網や浮きなら不思議はありません。なぜ陸上で使われて

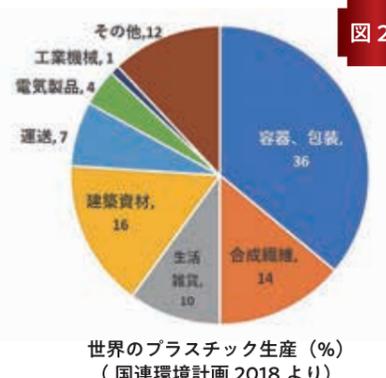
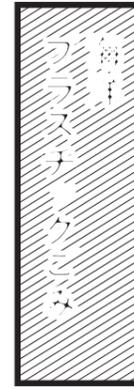


図2

いるプラスチックが海にあるのでしょうか。その答えは、ペットボトルを道や川に捨てたり、レジ袋が風に飛ばされたり、生活排水に歯磨き粉や洗濯洗剤のビーズ成分が含まれたり、洗濯で出る糸くずが流れ出たりすることです。衣類の合成繊維もプラスチックです。すなわち、私たちが普段使っている生活プラスチックが、陸から川を経て海に出ています。(図2)

プラスチックはおもに石油から作られます。1950年代にバケツやザルなどの生活用品に使われ始めると、種類も増え、生産量もうなぎ登りに増えました。2015年までに世界で生産されたプラスチックは、合成繊維を含めて83億トンにな

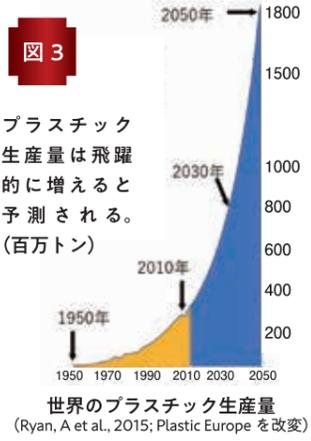


図3

プラスチック生産量は飛躍的に増えると予測される。(百万トン)

大量生産だから使い捨てをし、燃焼やリサイクルでプラスチックごみは処理できるという考えは幻想だったようです。現実には、2010年でさえ沿岸国の192カ国が生産したプラスチックの2〜5%にあたる480万トンが海にゴミとして流れ出ています。今はもっと増え、将来はさらに増え、と気付いた段階で、すでに世界の海にプラスチックが蔓延していました。



海洋 マイクロプラスチック

海洋ごみは、漂流ごみ、漂着ごみ、堆積ごみに分類されます。漂流ごみは、人工物が海岸に打ち上げられ、海洋環境を破壊し、景観を損ない、砂浜や磯を荒らす厄介物です。最近の全国調査では31〜58万トンも漂着しています。発泡スチロールやペットボトルは特に大量です。市民団体や学校や企業が海岸清掃活動に取り組んでいます。



図4
マイクロプラスチック
(写真提供 NPO 法人浜浜ネットワーク 田中美奈子)

回収量は1年で全体の約10%に過ぎません。日本だけの問題ではなく、中国や韓国やロシアから流れ着く物は、海に囲まれた日本の宿命と言えるでしょう。また経済的にごみ処理設備やリサイクル設備の整備が出来ない国々からの漂着物も致し方ないと言えます。国際協力が必要であることは自明です。日本は世界第6位のプラスチック生産国なので、海洋プラスチック問題への理解が大切になります。さらにマイクロプラスチックと呼ばれる5mm以下の海に漂うプラスチックの細片が問題になって

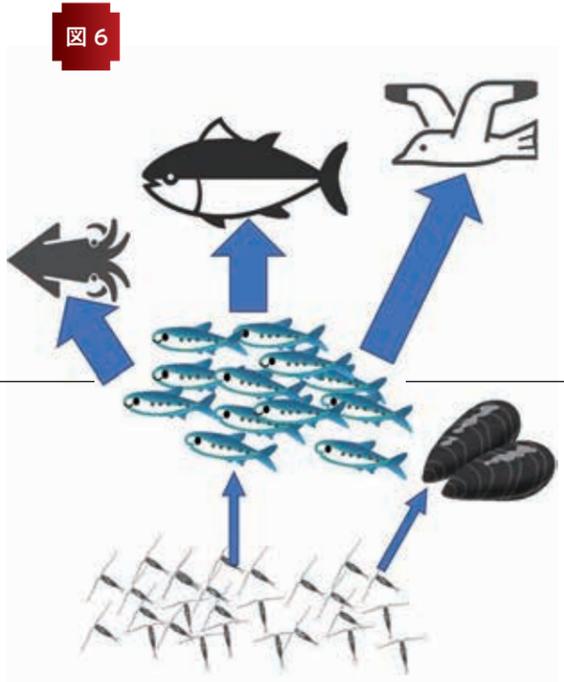
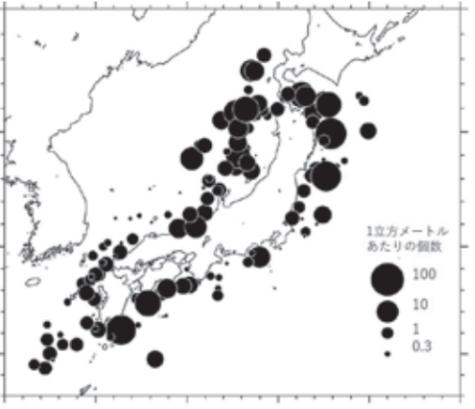


図6
海の食物連鎖。マイクロプラスチックは上に行くほど蓄積されて多くなる。

わかるプラスチック製品です。マイクロプラスチックになると、肉眼では見難く、顕微鏡や顕微鏡が必要です。顕微鏡の下の体長1mmの動物プランクトンの消化管にマイクロプラスチックがびっしりと詰まっているのを見ると、海の食物連鎖によってすでに人間にまで達していると推測されます。

食物連鎖とは、食べる食べられるの関係を指します。光合成をする植物プランクトン→動物プランクトン→小魚→大きな魚の順に食べられ、小型多数から大型少数になるピラミッド型の生態構造です。人間の海の食物連鎖に入りませんが、すべてを包む枠外になります。(図6)

図5



日本沖合でのマイクロプラスチックの分布(2014-2016年の合計で1立方メートルあたりの個数)。Isobeら(2015) Marine Pollution Bulletin 掲載論文より。

います。計算上、世界の海には5兆25億個あり、その約40%は1mm以下です。0.1mm以下の超細片も見つかっています。漂着したプラスチックが紫外線などにより砕けて細片になり再び海に出て漂流しているものや、海に漂っている間に紫外線や波で分解されたものです。陸や川、浜辺や磯でもマイクロプラスチックが見つかっていま

す。どんなに細かくなっても無くなることはないことが、今では困った問題です。(図4)

日本沿岸のマイクロプラスチック量は、北太平洋の16倍、世界の海の平均の27倍になります。特に東北沿岸と四国沖に多く集まるのは、黒潮や対馬海流に乗ってきたと推測されます。東京湾の2016年の調査では、海ごみ4,929個中に45個のマイクロプラスチックが見つかりました。そして東京湾のカタクチイワシ6匹の80%の消化管から合計150個のマイクロプラスチックが見つかりました。(図5)

海の食物連鎖

マイクロプラスチックは、海面を特別な網ですくって集めますが、小さいほど回収が難しくなります。死んだクジラの胃からレジ袋やビニール袋が大量に出てきたことが話題になりましたが、それらは一目で

定されていません。微小なプラスチックが食物連鎖に入り、排泄物になって再び海へ出るという循環を完全に止める方法が、残念ながらありません。解決策あるいは妥協点を求めて、研究や技術開発が世界で進められています。

は、国が定める基準以下の濃度なのですが、有害物質です。PCBの製造は1972年に禁止されましたが、安定した化学物質なので極微量に海水中に何らかの原因で残留しています。日本周辺海域の海洋プラスチックごみのPCB等の濃度は、フランス、アメリカに次ぐ高さです。それは禁止前の生産量が高かったことと海流による集積のためと考えられています。とは言え、実態はよく分かっていないので、正しい情報で理解していくことが大切になります。

次号へ続く



あおぞら奨学基金



東日本大震災で被災した
高校生の授業料以外の必
要な学習費用を支援して
おります。30年度卒業さ
れた高校生からの感謝の
手紙を紹介しします

卒業を迎えて /

おかげさまで充実した学校生活を送ることができました。私は定時制で三修制を希望していたため、1、2年生の時に高校卒業認定試験を受けました。その時に奨学金を使わせて頂き、おかげさまで2年生の時にはすべて受かることができました。また私はこの三年間、成績を上げることと卒業を目標に頑張ってきました。将来は、看護師になろうと思っています。現在私は妊娠をしているので、少し先になると思いますが、かなえられるよう頑張りたいと思います。卒業できたことも、卒業後の目標ができたことも、今までご支援いただいたおかげです。ありがとうございました。(気仙沼高定時制 女子)

学校で学んだ三年間 /

高校に入学して、小中学校とちがうなと思ったのは学校図書館です。私はいろんなものを読むのが好きで中学の時から図書委員をしていました。私は西高の三年間ずっと図書委員でした。一番思い出に残るのは3年生の時の初めて開催した読書会でした。辻村深月さんの「鏡の孤城」を読んでみんなで話し合いました。その内容を録音テープから文字おこして図書館だよりにのせました。三年間の高校生活は思うようにいかず、苦しかったこともありましたが、そんな時でも友達がいつもいてくれて、ここまで来ることができました。支援者の皆様に恩返しができるように、社会に貢献できる人間になれるように、西高で学んだことをもとに頑張っていきます。ありがとうございました。(福島西高 女子)

インド大使館における 国際婦人デーの催しに参加して

丸山弘子常務理事

日本ではあまり知られていませんが、3月8日は国連が定めた国際婦人デーです。在京の各大使館で思い思いの催しが開催される中、3月19日にインド大使館のヴィヴェーク・カナダ文化センターにおいて国際婦人デーを祝して講演会が開催されました。

駐日インド大使ヴァルマ閣下のご挨拶に続き、元駐日インド大使セット氏、ヴァルマ大使夫人、バラナス・ヒンドゥー大学のウパディヤイ博士と同大学のUNESCO 平和研究所及びオスロー国際平和研究所のウパディヤイ教授、全日本仏教婦人連盟理事の丸山弘子がそれぞれ講演を行いました。

センター長のシッダールト・シン教授が仏教徒でいらっしゃるご縁もあり、同センターから仏婦に「仏教と女性」について15分程で話をするように依頼されました。以下、日本語と英語で交互に行った講演です。

「ご承知のように、お釈迦様はヒマラヤ山脈の麓でお生まれになりました。それから仏教は大いなる旅路の末に日本へ6世紀に伝来しました。欽明天皇の世に仏教は伝来されましたが、天皇は外国からやって来た仏教がよく分からず、受け入れるべきかどうか悩みました。丁度ハムレットのようです。

熟慮の末ついに天皇は仏教を受け入れる決心をしました。以来、仏教は日本人の生活文化と深く関わってきました。仏教を切り離して日本文化を語ることはできないと言っても過言ではありません。

さて、私ども全日本仏教婦人連盟が創設されてから65年となります。すでに還暦を過ぎています。その間、助けを必要とされる方々への支援活動に取り組んでまいりました。特にお釈迦様がお悟りを開いたブツダガヤでは、40年に渡り幼稚園や光明無料診療所へのサポートを続けています。

お釈迦様の教えを学ぶことは重要ですが、それを実行に移すことがもっと重要だと思います。私が仏教徒として日々心掛けていることは、和顔愛語で人に接することです。」

- 5月
May
- 8日 監査会(事務局)
- 16日 (公財) 全日本仏教会第4回社会・人権審議会(明照会館)
- 20日 第19回理事会・第1回運営委員会(天王寺)
- 28日 (公財) 国際仏教興隆協会第25回理事会(明照会館)
- 30日 (公財) 全国青少年教化協議会・第43回正力松太郎賞授賞式(東京グランドホテル)



仏婦 NEWS抄

私たちの
日々のあゆみ
2019年4月～6月

- 4月
April
- 1日 「沙羅の樹」11号発行
- 3日 第31回花まつり(大正大学)
- 8日 京都花まつり(ANAクラウン京都ホテル)
- 25日 監査会(事務局)
- 28日 (公財) 全日本仏教会第4回社会・人権審議会(明照会館)
- 30日 第19回理事会・第1回運営委員会(天王寺)
- 5月
May
- 8日 監査会(事務局)
- 16日 (公財) 全日本仏教会第4回社会・人権審議会(明照会館)
- 20日 第19回理事会・第1回運営委員会(天王寺)
- 28日 (公財) 国際仏教興隆協会第25回理事会(明照会館)
- 30日 (公財) 全国青少年教化協議会・第43回正力松太郎賞授賞式(東京グランドホテル)
- 6月
June
- 4日 第7回総会(聖観音宗浅草寺)
- 13日 (公財) 全日本仏教会宗務行政に関する懇談会(明照会館)
- 18日 (公財) 全日本仏教会第4回社会・人権審議会(東京拘置所)
- 20日 第116回文化講座・京都仏教セミナー(広隆寺・相国寺)
- 24日 東京都仏教連合会研修会・懇親会(新宿京王プラザホテル)
- 25日 (公財) 全日本仏教会総務財政審議会(明照会館)



- ▼賛助金にご協力の方々
- 曹洞宗 浄土宗 真言宗豊山派 浄土真宗東本願寺派 念法真教 天台宗 真言宗須磨寺派 真言宗大覚寺派 聖観音宗浅草寺 法華宗陣門流 真宗木辺派 総本山知恩院 総本山四天王寺 三千院門跡 妙法院門跡 毘沙門堂門跡 中宮寺門跡 円照寺門跡 大本山成田山新勝寺 大本山川崎大師平間寺 高幡不動尊金剛寺 大本山善光寺大本願 大本山善光寺大勧進 大本山永平寺 大本山總持寺 大本山護国寺 大本山池上本門寺 本山大坊本行寺 大雄山最乗寺 大本山薬師寺 音羽山清水寺 孝道教団 總持寺 妙清寺 深大寺 梅窓院 上品蓮台寺 龍光寺 慈眼寺(智山派) 長専院 金剛院 回向院 寶生院 淨真寺 安国寺専門僧堂 正覚院 如宝寺 清岸寺 光明院 金嶺寺 善養寺 宝蓮寺 傳通院 竹林寺 高岩寺 満願寺 東園寺 慈眼寺(曹洞宗) 西新井大師總持寺
 - (公財) 仏教伝道協会 日本仏教鑽仰会 日本仏教鑽仰会 京都仏教会 (株) 経営総合研究所 柴田龍太郎(弁護士) 更生保護法人日新協会 大和証券(株) (株) 中山石渠
 - ▼ご芳志を頂きました方々
 - 末廣久美 篠田節子 本多端子 梨本三千代 日比野郁皓 大橋百合子

ご案内

第66回 全日本仏教婦人連盟大会

日時 10月15日(火) 11時より
場所 東京プリンスホテル「マグノリアホール」

第117回文化講座

日時 9月11日(水) 14時より
会場 天王寺
講師 SALLiA氏 (仏像オタクニスト・ミュージシャン)
参加費 500円

- 岩脇孝子 御嶽由美子 小峰みな子 長尾節子 佐々木公子 雲井由美子 安井豊子 木田正子 安部勢津子
- ▼写経運動にご協力の方々
- 中村幸子 高橋節子 村上和之 末廣久美 篠田節子 植松園子 出雲君美子 花田まさ子 花田照子 梨本三千代 中島美世子 瀧口恵子 岩田吉博
- ▼福祉関係にご協力の方々
- 小田義海 木南鈴子 本多昭子
- ▼花の種運動にご協力の方々
- 岩脇孝子 松井百合子 河原時子 鈴木トヨ子 長尾節子 佐々木公子 可児光永 善照寺 貞善院婦人会
- ▼タオル運動にご協力の方々
- 寂光院 天王寺 大越昌子
- ▼あおぞら奨学基金にご協力の方々
- 無優樹の会
- ▼「全佛婦」誌代にご協力の方々
- 河原時子 大橋百合子 岩脇孝子 大越昌子
- ▼手芸品寄贈